

津駅西口及び東口エリア整備の方向性

<津駅東口エリアの整備イメージ>

津駅東口駅前広場
多様な交通機能を集約させた交通ターミナルと、官民連携による複合建築物の整備、駅前広場・デッキの一体的な整備などにより、乗り換えの利便性向上、防災機能向上、にぎわい・滞留空間の創出、都市拠点としての魅力・価値向上などを目指します。

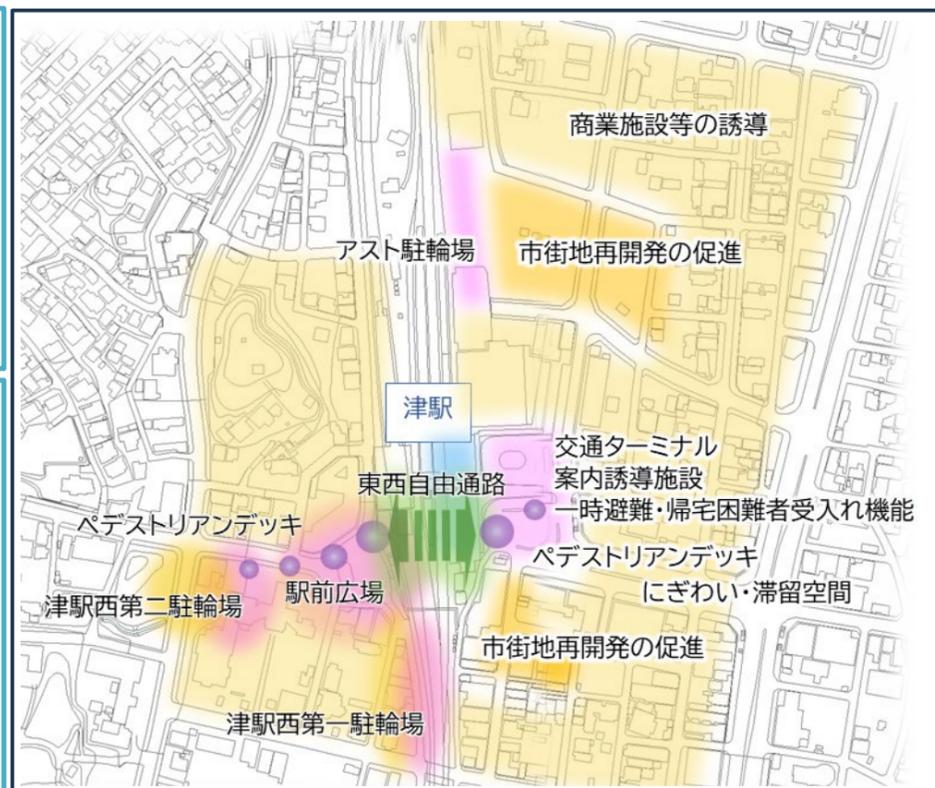
津駅東西自由通路
東口と西口を直結する東西自由通路の新規整備による立体的な空間の活用により、津駅東口との快適で安全な移動経路の確保を目指します。

<津駅西口エリアの整備方針>

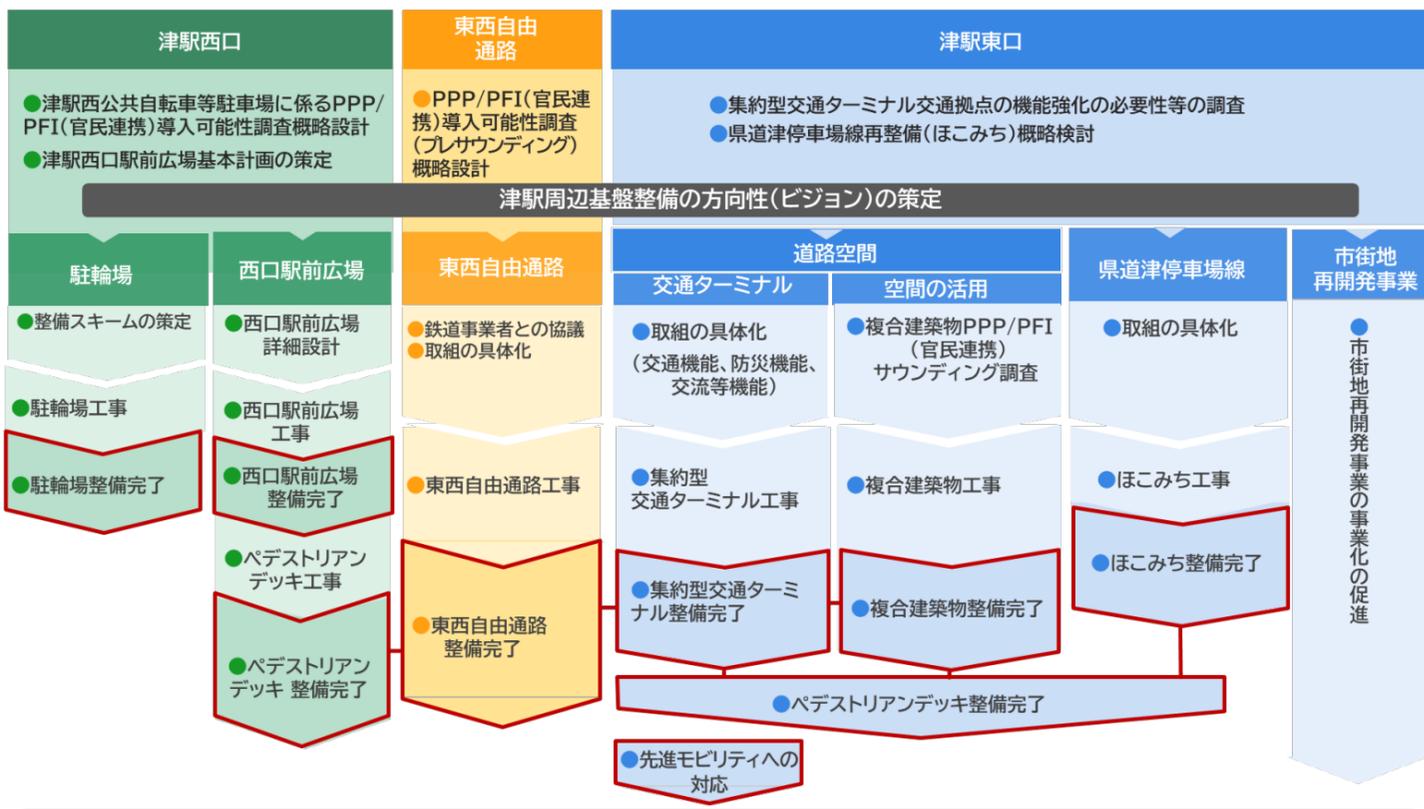
津駅西口駅前広場
令和7年3月に策定した基本計画に基づき、駅前広場の再整備を進めることで交通整序化などを図り、駅利用者の安全性・利便性の向上を目指します。

駐輪場
駐輪場を再編し整序化・機能強化します。

にぎわいの創出
これまでになかった津駅西口の憩いの場として、にぎわい・滞留空間の創出を目指します。



今後の事業推進イメージ



みえ県都の顔となり、地域の活力を引き出し、災害にも強い空間へ

津駅周辺基盤整備の方向性(ビジョン)

概要版

津駅周辺基盤整備の基本理念

「みえ県都の顔となり、地域の活力を引き出し、災害にも強い空間へ」

津駅周辺基盤整備のコンセプト



津駅周辺エリアは、行政・商業・業務・教育・文化・医療・福祉・交流などの多様で高次な都市機能が集積し、市民や来訪者が都市的サービスを楽しむ中心的な都市核であるとともに、複数の公共交通路線が乗り入れる重要な交通結節点となっています。現在の津駅周辺空間が形成され半世紀が経過し、施設の老朽化への対応など、様々な課題が増えてきており、令和2年5月の道路法改正を契機とし、津駅周辺の道路空間再編に向けた検討を始め、令和4年3月に「津駅周辺道路空間の整備方針」を策定しました。

この「津駅周辺基盤整備の方向性(ビジョン)」については、今後、国、三重県及び本市が連携した津駅周辺基盤整備の取組を加速させた上で、整備方針を具体化することを目的に、これまで三者が実施した調査や実験等により把握してきた津駅周辺地区の特性や課題を踏まえ、津駅周辺地区において目指す将来像を示すことを目的としています。

